

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 スカイマーク株式会社

上場取引所 東

コード番号 9204 URL <http://www.skymark.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西久保 慎一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 有森 正和

TEL 03-5708-8280

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	65,250	△0.8	△181	—	1,916	△75.2	230	△94.4
25年3月期第3四半期	65,758	12.1	6,287	△47.9	7,738	△30.6	4,107	△25.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	2.54	2.53
25年3月期第3四半期	45.18	44.89

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	78,292	46,749	59.1	509.10
25年3月期	74,230	46,824	62.6	510.60

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 46,307百万円 25年3月期 46,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	—	—	4.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	86,390	0.5	△2,036	—	25	△99.7	△1,031	—	△11.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	91,304,000 株	25年3月期	91,286,400 株
26年3月期3Q	345,624 株	25年3月期	345,624 株
26年3月期3Q	90,951,551 株	25年3月期3Q	90,921,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、全体的に緩やかな回復基調にありました。米国では雇用が増加傾向に転じ企業の業況にも回復の兆しが見え始めています。また、欧州においても債務危機問題への不安が弱まり、企業の業況は持ち直しつつあります。

一方でこれまで世界経済の牽引役であった中国経済は、インフラ投資の鈍化等により経済成長率を7%台へと減速させており、世界経済へ与える影響が懸念されます。

わが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景とした消費動向の持ち直しや企業収益の改善など、全体的には緩やかな回復が見られますが、円安基調の持続により輸入関連企業等一部の業種においては依然として予断を許さない状況が続いています。

航空業界におきましては、景気の持ち直しに伴い国内旅客総数はやや増加しましたが、原油価格が引き続き高水準で推移したこと及び円安による影響を大きく受け、厳しい経営環境となりました。また国内LCCの参入が一段落する一方で、特定の路線については需要に対する供給が過剰となり、旅客の獲得競争が激しさを増す中で各社の体力を消耗させる結果となりました。

このような経営環境のもと、当社はより安定的で効率的な収益基盤を形成すべく、成田＝福岡線等の他社との競合で収益性が低下していた路線から撤退し、他社との競合が少なくかつ運賃が高止まりしている米子空港へ就航する等、積極的な路線の改廃を進めました。また、機材体制としましては、当第3四半期累計期間にBoeing737-800型機の新造機4機を導入し、リース期間満了(8年)により1機をリース会社へ返却したことで計32機の運航体制となりました。

事業収益につきましては、就航路線の見直しにより提供座席数が前年同期比で0.8%減少しましたが、収益性の高い路線へ架け替えを行ったことで、旅客数は前年同期比0.2%の減少、旅客収入も前年同期比0.3%の減少にそれぞれとどまりました。しかしながら、フリー運賃の販売数量の増加により取消手数料収入が前年同期比で53.8%減少し、総売上高は前年同期比0.8%減の65,250百万円となりました。

事業費は航空機数の増加及び円安に伴う航空機材費の増加(前年同期比38.7%増)、AirbusA330-300型機の導入に伴う運航乗員訓練費の増加(前年同期比27.8%増)、航空機燃料の価格上昇に伴う燃料関連費の増加(前年同期比12.5%増)等により、総額62,919百万円となりました。なお、為替の変動が航空機材費や燃料費等の事業費に与える影響は1USDにつき1円の変動で年間約340百万円となっております(円安は費用の増加となり、円高は費用の減少となります)。

販売費及び一般管理費は、対象旅客数の増加に伴うクレジットカード会社及びコンビニエンスストアに対する支払手数料の増加、広告宣伝費の減少(前年にフリー運賃の大規模な広告宣伝を行ったことに伴う減少)、消耗品費の減少等により2,512百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

これらの結果、営業損失は181百万円(前年同期は6,287百万円の営業利益)、経常利益は1,916百万円(前年同期は7,738百万円の経常利益)、当四半期純利益は230百万円(前年同期は4,107百万円の四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末に比べて4,062百万円増加し78,292百万円となりました。これは主にAirbusA380型機の導入等に係る建設仮勘定の増加8,168百万円、Boeing737-800型機の導入に伴う預け金及び長期預け金の増加3,388百万円並びに敷金保証金の増加776百万円、AirbusA330-300型機の模擬操縦装置の導入に係る機械装置の増加1,190百万円及びリース資産の増加660百万円、AirbusA330-300型機導入等に係る車両の増加708百万円、現金及び預金の減少12,227百万円によるものであります。

負債合計は前事業年度末に比べて4,137百万円増加し31,543百万円となりました。これは主に返還整備引当金の増加2,435百万円、定期整備引当金の増加1,912百万円、前受旅客収入金の増加1,571百万円によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて74百万円減少し46,749百万円となりました。これは主に新株予約権の増加52百万円、繰越利益剰余金の減少133百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成25年10月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成26年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,155	10,928
営業未収入金	4,250	3,432
貯蔵品	60	85
預け金	—	3,295
未収入金	373	947
前渡金	—	878
未収還付消費税等	—	217
未収還付法人税等	—	338
前払費用	2,791	3,801
繰延税金資産	857	737
その他	207	403
貸倒引当金	△18	△0
流動資産合計	31,678	25,065
固定資産		
有形固定資産		
航空機材	5,484	5,897
減価償却累計額	△2,973	△3,546
減損損失累計額	△75	△73
航空機材(純額)	2,436	2,277
建物	2,362	2,450
減価償却累計額	△637	△749
建物(純額)	1,724	1,700
構築物	19	19
減価償却累計額	△4	△6
構築物(純額)	14	12
機械及び装置	2,384	3,574
減価償却累計額	△1,500	△1,848
機械及び装置(純額)	883	1,726
車両運搬具	3,273	3,982
減価償却累計額	△2,581	△2,984
減損損失累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	691	997
工具、器具及び備品	1,304	1,706
減価償却累計額	△971	△1,066
減損損失累計額	△1	△0
工具、器具及び備品(純額)	331	639
リース資産	948	1,609
減価償却累計額	△236	△318
リース資産(純額)	712	1,291
建設仮勘定	17,248	25,416
有形固定資産合計	24,042	34,062
無形固定資産	56	51

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産		
関係会社株式	2	2
長期貸付金	2	1
敷金及び保証金	5,647	6,218
長期預け金	12,723	12,816
長期前払費用	57	54
その他	22	22
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	18,453	19,113
固定資産合計	42,552	53,226
資産合計	74,230	78,292
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,013	2,702
未払金	83	554
未払費用	1,170	1,079
未払法人税等	1,557	—
未払消費税等	596	—
預り金	496	174
前受旅客収入金	4,099	5,670
定期整備引当金	1,449	1,320
返還整備引当金	1,533	3,644
その他	87	265
流動負債合計	14,087	15,413
固定負債		
定期整備引当金	8,824	10,865
返還整備引当金	3,064	3,388
資産除去債務	383	244
リース債務	764	1,333
繰延税金負債	122	117
その他	159	180
固定負債合計	13,319	16,130
負債合計	27,406	31,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,177	14,180
資本剰余金		
資本準備金	13,310	13,313
資本剰余金合計	13,310	13,313
利益剰余金		
繰越利益剰余金	19,037	18,903
利益剰余金合計	19,037	18,903
自己株式	△91	△91
株主資本合計	46,434	46,307
新株予約権	389	442
純資産合計	46,824	46,749
負債純資産合計	74,230	78,292

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
事業収益	65,758	65,250
事業費	56,763	62,919
事業総利益	8,995	2,331
販売費及び一般管理費	2,708	2,512
営業利益又は営業損失(△)	6,287	△181
営業外収益		
受取利息	4	8
為替差益	1,125	1,795
違約金収入	312	288
その他	68	99
営業外収益合計	1,510	2,191
営業外費用		
支払利息	55	78
その他	4	14
営業外費用合計	60	93
経常利益	7,738	1,916
特別利益		
固定資産売却益	60	0
新株予約権戻入益	4	38
その他	7	3
特別利益合計	72	41
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	12	63
その他	5	—
特別損失合計	20	63
税引前四半期純利益	7,790	1,895
法人税、住民税及び事業税	3,643	1,550
法人税等調整額	39	114
法人税等合計	3,682	1,664
四半期純利益	4,107	230

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。